

人材育成と大学教育私論



二羽淳一郎
論説委員
東京工業大学
大学院理工学研究科 教授

50 年後の国土への戦略を考えた場合、この担い手となる土木技術者の育成が非常に重要な課題であることは論をまたない。将来の土木技術者には、土木に対する深い理解力と洞察力、そして愛情が求められると筆者は考えている。土木を深く理解し、世のため人のために働きたいという人材を育成するためには、どのような大学教育が必要であるのか考察したい。

筆者の恩師である高知工科大学理事長の岡村 甫先生は、最近のインタビューの中で、「先輩には、後輩が成長するための環境をつくる義務や責任がある」ということと、「個人には必ず何らかの長所（あるいは武器）があるので、それを活かして対処していけばよい」ということを述べている¹⁾。筆者の大学院時代にはまた、しばしば「教えない教育」²⁾という考え方を拝聴した。これは吉田徳次郎先生から続く伝統の考え方であって、大学教育においては学生本人がその勉学の意義を自覚することが最も重要であり、意義を自覚した自律的な学生本人の取り組みによって初めて、格段の教育効果が得られるとする考え方である。「教えない教育」は、師匠が弟子を育成していく一方、弟子は師匠の仕事の補助や身の回りの世話をしながら、仕事の手順、技法、慣習等のノウハウを秘かに習得していくという徒弟制度に近いものといえる。大相撲、古典芸能、伝統工芸等の世界ではこれが現在まで受け継がれている。

一方、「教えない教育」とは逆に、土木技術者として必要な素養を大学教育を通してシステマチックに修得させ、一定の水準をクリアした学生のみを卒業させているプログラムを、認定していくというのが、JABEE の制度だと言えよう。「教えない教育」からみれば、JABEE は本当に親切で丁寧な制度であると言える。現在の大学教育は、明らかに JABEE の方向に進んでいる。各教員はその担当する講義科目において、受講生が修得すべき学習教育上の目標を明示し、これを達成することを合格の条件とする。非常に合理的な考え方であり、教員・学生の双方にとって、透明性が高い。しかしながら、「教えない教育」において最も重要視された「勉学の意義」を受講生本人が十分に自覚したか否かについては、やや懸念が残る。

さて、今年の正月に行われた箱根駅伝では、大方の予想を覆して、青山学院大学が 2 位の駒澤大に 10 分以上の差を付けて優勝したが、文藝春秋に掲載された、原晋監

督のインタビュー³⁾が興味深い。「選手を勧誘するにあたってはタイムよりも表情や言葉の豊かな子や、走りに表現力があふれている選手を重視した」、「2005 年に監督に就任して強化を始めた段階から『生活力』、『チーム力』、『競技力』の三要素を重視してきた」等、通常考えられるような、タイムや競技力だけでなく、表情や表現力、生活力、チーム力等の、一見、競技とは無関係なものを重視してきたというのである。しかし、表情や表現力等の人間性に関わる点や生活力を徹底して改善させていくことにより、選手の間で「みんなで箱根を目指そう」という意識が高まって次第にチーム力がめきめきと向上し、2009 年に 33 年振りに箱根に出場でき、さらに 2012 年には出雲駅伝で初優勝できた。このような成功体験と、新たに加わってきた良い選手とが組み合わせり、競技力自体も大きく向上したことが、今回の箱根優勝につながったということである。駅伝においても、人間性や生活力の向上が競技力に大きく影響するという考え方は非常に示唆に富むものである。

以上、いくつかの事例を紹介したが、最後に人材育成と大学教育に関する筆者自身の考え方を述べたい。「教えない教育」が重要視する、学生自身が勉学の意義を自覚することと、その意義を自覚した学生本人の自律的な取り組みが、人材育成にとって最も重要な契機であることは疑いない。このスタート地点まで連れて来ることができれば、あとは例えば JABEE のようなシステムを導入して、効率的に教育を行い、人材を育成することが可能となると思われる。問題は、どのようにしてこのスタート地点にまで連れて来るといふことに尽きるように思う。岡村先生の言われるように、「先輩は、後輩が成長するための環境をつくる義務や責任がある」ということを肝に銘じて、各教員は普段からそれぞれの専門分野の研究に対する魅力を高め、学生にとっての好奇心をかき立てる努力を積み重ねることと、そして「個人には必ず何らかの長所がある」ということを十分に理解して、一人一人の学生に対してその長所を伸ばしていくように配慮することが、長い目で見れば、将来の土木を担う人材育成に最も効果的な教育方法なのではないかと考えるのである。

引用文献：

- 1) 飯島 怜・山下優輔：「野球とコンクリートと歩んできた岡村甫氏」、土木学会誌、Vol.99、No.9、2014.9.
- 2) 國分正胤：「吉田徳次郎先生の教育に関する御遺言」、吉田徳次郎先生の御遺徳を偲んで、土木学会吉田賞選考委員会、p.31～34、1993.12.
- 3) 生島 淳：「青山学院大・原晋監督ロングインタビュー」、文藝春秋、2015.3.